

2011年3月19日

各位

エクソンモービル株式会社
問合せ先：広報渉外部
TEL 03-6713-4378
甲斐 080-1026-3736
田所 090-6930-9103

東北地方太平洋沖地震による影響について 第7報

エクソンモービル・ジャパングループは、被災地への燃料油安定供給に全力を挙げて取り組んでいます。塩釜油槽所の復旧、関東地区の精製設備の復旧、関西から関東への製品転送、ドラム缶を使用した緊急輸送などが、順調に進捗しています。詳細は、以下をご覧ください。

- 仙台の塩釜油槽所は、貯蔵されている製品の出荷作業を被災後初めて明朝(3月20日朝)から開始する予定です。また、海上からの製品受け入れは、3月21日から可能となる見込みです。仙台地区での供給再開をより迅速にするため、他社と共同使用に供する予定です。
- 極東石油工業千葉製油所では、主要設備が順次稼働開始しており、3月21日にフル生産体制に入れる予定です。これにより、当グループのすべての工場は、フル生産体制となります。
- 震災後から本日まで(3月13日-19日)に、関西地方の製油所から関東地方に転送した製品数量は、合計2万7千キロリットルにのぼります。このうち、1万7千キロリットルがガソリンで、これは、乗用車約30万台以上を満タンにする数量です。川崎工場からのタンクローリーの出荷量は、通常のおよそ1.5倍となっています。
- 東燃ゼネラル石油の川崎工場から、宇都宮、高崎、松本、上田に向け、ガソリン、灯油および軽油を貨車で一日あたり約100車両分の出荷を継続中です。
- 緊急用途向けの燃料として、東燃ゼネラル石油の和歌山工場と極東石油の千葉製油所は、200リットルドラム缶数百本に灯油と軽油を充填し、被災地用に輸送する予定です。

以上